

◀四月八日、〇五・〇六生の顔合わせ



## 移

転に伴い宮島でのオリエンテーションが実施不能になり、教育学部

では昨年度から各学科ごとに一泊二日の日程でオリエンテーション研修を実施している。場所は、西条共同研修センター、似島臨海少年自然の家、野呂高原ロッジ、錦グリーンパレス、帝釈峡国民休暇村、高見荘（似島町）、広島青年スポーツセンターとさまざまであるが、各科の特色に合わせて、それぞれに趣向をこらし、充実した研修を行っているようである。今年も心理学の研修の様子を取材してみた。

（教育学部広報委員長 森 敏昭）

## 似島

## オリエンテーション

## キャンプ

## 心

心理学のオリエンテーション・キャンプは、四月九日、十日

に、似島臨海少年自然の家で行われた。参加したのは、新入生と二年生、およびチューターの教官と、全部合わせても八十人弱であった。

心理学のオリエンテーション・キャンプに関しては、慣例としてわれわれ二年生が主催することになっている。

だいたいいつごろから企画・準備を始めたか、細かいことはよく覚えていないが、とまあ昨年六月祭と十月祭で模擬店を出し、タコ焼きを販売して、収益をキャンプの費用にあてた。



▲いよいよキャンプへ - 似島上陸 -

そのあとキャンプの二、三日か月前、具体的な日程を決める段階に入って困った。入学式が金曜日だったのだ。できれば、新入生のオリエンテーション期間中にキャンプを行いたかったので、入学式の日の翌日にキャンプに行くこととし、入学式当日の午後に昼食会を開いて顔合わせをすることに決定した。

こまごまとした準備を終えて、顔合わせの当日、昼食会の会場へ一年生を迎えた時にはほっとした。入学式の後、会場から直行してもらったにもかかわらず、ほぼ全員の一年生が参加してくれたからである。翌日のキャンプにもみんな参加してくれ、おかげで我々も準備したかいがあった。この昼食会とキャンプを通して、一年生と二年生の縦のつながりも強くなったが、しかし一年生同志のつながりももっと深まったようだった。こうした早い段階から横のつながりが密接になったということは、一年生にとって、とてもよかったのではないかと思う。

（心理学部二年 柴田 ゆかり）

## 四

月九、十日の似島合宿に、一年生の特権とばかりに無料で参加させていただきました。最初は、「入学式の翌日から合

宿なんて正気かあ？」と思ったのですが、現金なので、数年ぶりの船に乗り、初めて見る瀬戸内海に感動していました。

似島臨海少年自然の家への坂では荷物の重さを呪いながらも、桜に見とれて歩きました。着いてすぐのオリエンテーションは、「おいおい、こんな早くに本性ばらししているのか」のドツヂボール。

そして、翌日、体力を使い果たした私たちを待っていたのは、完徹明けで元気にレクリエーションをする先輩の姿でありました。己の未熟さを思い知った気がいたしました。

お互いの名前さえわからない状態での合宿は、不安ではありませんでしたが、そのおかげで、教心〇六はこんなにも早くまとまれました。そんな合宿の準備をしてくださった関係者のかたがたに、心より御礼申し上げます。

（心理学部一年 掛川 育子）

